



輸入販売元：株式会社中塚小児車工業所

〒670-0043 兵庫県姫路市小姓町 92

お問い合わせ TEL：079-298-2279 FAX：079-292-6026

受付時間：10:00～12:00 13:00～16:00

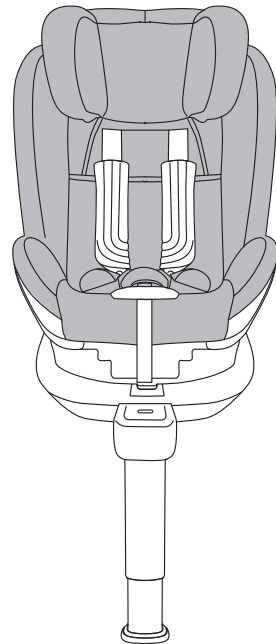
(祝祭日を除く月～金曜日)



Curu Pit

クルピット
ロングユース

UN R44/04 適合
体重：9 kg～36 kg



もくじ

お子さまの安全のため、ご使用になる前に
必ずこの取扱説明書をお読みいただき、
十分ご理解の上、ご使用ください。

注意：身長 40 cm～ 105 cm でのご使用方法は別冊の
UNR129/03 適合の取扱説明書をご参照ください。
この取扱説明書は体重 9 kg～ 36 kg の使用方法を記載しております。

これらの事項が守られない場合、お子さまの安全が保持できず、
危険にさらされるおそれがございます。

本書は肩ベルト収納 BOX に収納してください。

1. ご使用いただく前に	3	6.ISOFIX の取付け方法（進行方向前向き）	19
2. 各部の名称	4	7. シートベルトの取付け	20
3. 製品情報	5	8. お手入れのしかた	21
4. 使用上の注意	6	9. 本体サイズ	21
5. チャイルドシートの使用方法	8	10. 日常の点検	22
5-1 取付可能な位置	8		
5-2 バックルの取付けのしかた	9		
5-3 ヘッドレストの高さ調節のしかた	9		
5-4 肩ベルトと腰ベルトの長さ調節のしかた	10		
5-5 シート本体の回転方法	11		
5-6 リクライニング角度調節方法	12		
5-7 肩ベルトの外し方	14		
5-8 肩ベルトパッドの外し方	15		
5-9 バックルの外し方	15		
5-10 サポートレッグの長さ調節のしかた	16		
5-11 サイドプロテクターの使用方法	17		
5-12 シートカバーの取外し・付け方	18		

ご使用いただく前に

お子さまの安全のため、ご使用前に必ず本書を読み、正しくご使用ください。

チャイルドシートは、交通事故の場合に、お子さまの傷害を軽減することを目的としており、必ずしも事故からお子さまを無傷で守るものではありません。また、チャイルドシートを使用するときは必ず保護者の方が同乗してください。

●表示について

本書では、安全に正しくご使用いただくため、重要な事項を『危険』、『警告』、『注意』の表示にて説明しています。重要事項が守られなかった場合に予想される、危害・損害の切迫度や大きさにより区分しております。大変重要な内容となりますので、必ずお守りください。

表示	表示の内容
危険	誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定されます。
警告	誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定されます。
注意	誤った取扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害が起こる可能性が想定されます。

フロントエアバッグ装備の座席ではチャイルドシートを使用しないでください。

衝撃時のエアバッグの操作により大きな衝撃を受け大変危険です。

UNR44/04 において認可されたセミユニバーサルISOFIXチャイルドシートです。

ISOFIX型チャイルドシートの取付け認可された座席に取付けることができます。

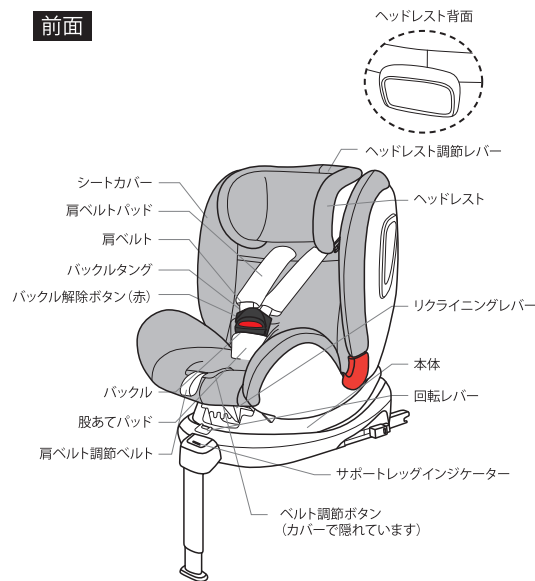
ただし、ISOFIX取付バーを装備した全ての座席に取付けられるものではありません。

車両メーカーが示す位置、車両の取扱説明書をご参照ください。

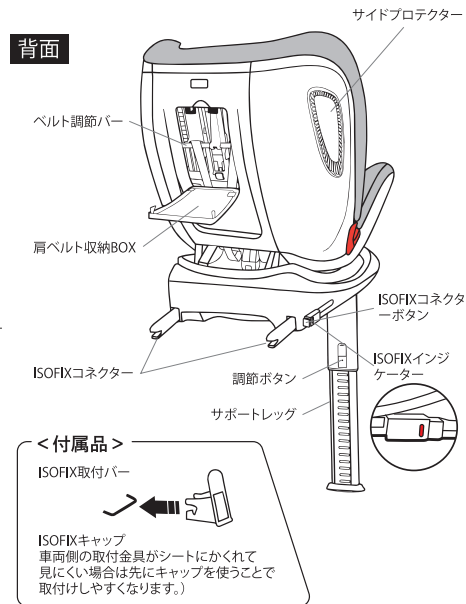
また、本製品についての質問がございましたら、購入元もしくはメーカーへお問い合わせくださいませ。

各部の名称

前面



背面



製品情報

本製品は 360 度回転する
子ども用拘束チャイルドシートです。

UNR44/04 に合格		
体重	取付方法	取付方向
9kg ~ 36kg	ISOFIX 固定 + サポートレッグ	進行方向前向き

使用上の注意

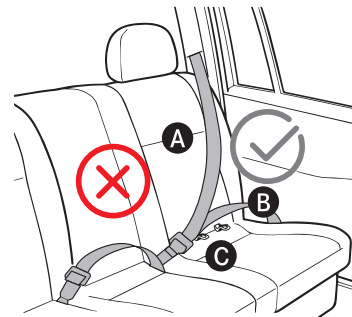
- △重要：本製品の取扱説明書及び、車両の取扱説明書をよく読んでご使用ください。チャイルドシートの設置場所や取付方法を怠ると死亡事故を招くおそれがあります。
- △重要：低体重で出生された未熟児はチャイルドシートを使用する前に、必ず医師または医療スタッフの指示にしたがってください。
- ・お子さまを乗せた状態で長距離を走る場合は、一時間程度を目安に休憩を取ってください。
- ・使用前にチャイルドシートの部品に破損などがないか確認してください。
- ・車両への取付けはゆるみが無いよう取付けてください。
- ・お子さまを拘束するためのすべてのベルトは、お子さまの体に密着していることや、ねじれがないことを確認してください。
- ・本製品の改造や不当な修理は絶対にしないでください。
- ・必ず本製品の取扱説明書に従ってご使用ください。
- ・サポートレッグはしっかりと車両の床面に着いていることを確認してください。
- ・お子さまがチャイルドシートから落下しないように、腰ベルトがしっかりと装着されていることを確認してください。
- ・破損や欠損部分があるチャイルドシートは絶対に使用しないでください。
- ・損傷やすり切れた肩ベルトや車両側のシートベルトは絶対に使用しないでください。
- ・メーカーが許可する設置場所以外では絶対に使用しないでください。
- ・衝突事故や本製品を落下させた時など、一度でも強い衝撃を受けたチャイルドシートは、外見上の破損や変形がなくても絶対に使用しないでください。
- ・使用履歴の分らない中古のチャイルドシートは絶対に使用しないでください。

- ・チャイルドシートを車両のシート可動部やドアにはさまないように、十分に注意してください。
- ・直射日光があたると、本体やバックルタンクなどが熱くなり、お子さまがやけどをするおそれがあります。お子さまを乗せる前に各部が熱くないことを確認してから使用してください。
- ・短時間でもお子さまを乗せた状態で車内に放置しないでください。
- ・衝突の際、けがをしないようにチャイルドシートの近くに荷物などを置いていないか確認してください。
- ・シートカバーなどの縫製部品やウレタンなどのクッション材を外したまま使用しないでください。また、本製品以外のものと取替えたりしないでください。(衝突時の安全性能に影響を与えるおそれがあります。)
- ・本製品は車両のシートベルトで固定することはできません。
- ・この i-Size チャイルドシートを取付ける前に車両側の取扱説明書を必ず確認してください。

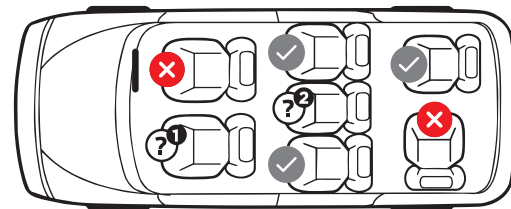
チャイルドシートの使用方法

5-1 取付可能な位置

- ・体重 15kg ~ 36kg (年齢の目安 3 歳 ~ 11 歳) で使用する場合は下の図の様な 3 点式シートベルトの座席で使用して下さい。
- ・2 点式シートベルトでの使用は不可です。



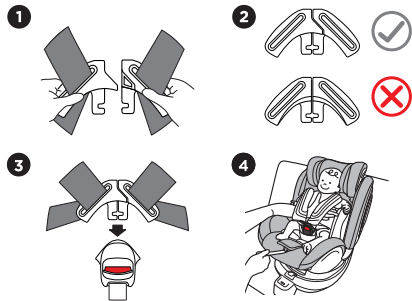
- A 車両のシートベルト
- B 車両の腰ベルト
- C ISOFIX 取付バー



- 正しい設置位置
- 誤った設置位置
- ① エアバッグが装備されていなければ設置可能
- ② ISOFIX の取付バーがある場合のみ取付け可能

5-2 バックルの取付けのしかた

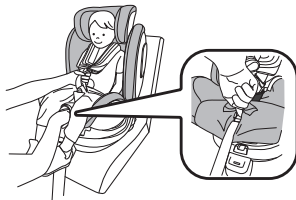
1. バックルタングの左右を持ちます。
2. バックルタングの左右を重ねて、向かって左側が上になっていることを確認します。
3. 左右を重ねたままバックルに差し込みます。「かちっ」と音がすることを確認してください。また、バックルタングを解除する時は赤いボタンを押してください。
4. 肩ベルトを引っ張ってたるみがなくなるまで、肩ベルト調節ベルトを引っ張って調整します。
お子さまと肩ベルトのすきまは手のひらが入る程度に調節してください。



5-3 ヘッドレストの高さ調節のしかた

1. ヘッドレストを引き上げる準備として、肩ベルトを片手で持ち、更に片手でベルト調節ボタンを押しながら手前に引き、ゆるめます。

肩ベルトパッドを引いても肩ベルトはゆるみません。



2. ヘッドレスト調節レバーを引いて、肩ベルトの正しい高さに調節してください。(図 b)
3. 適切な位置でヘッドレスト調節レバーから手を離してください。
4. ヘッドレストを上下に動かし、固定されていることを確認してください。

注意

ヘッドレストと肩ベルトの高さはお子さまの頭と肩の位置と同じくらいの高さで使用して下さい。
誤った使用方法ではチャイルドシートの本来の拘束性能を発揮できません。(図 a 参照)

図 a

前向き使用時
肩ベルトがお子さまの肩と同じか
肩より高い位置で使用してください。

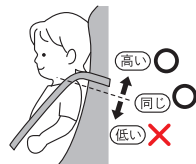
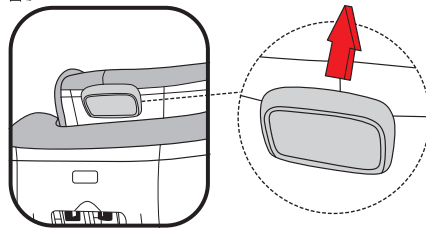


図 b



5-4 肩ベルトと腰ベルトの長さ調節のしかた

A

肩ベルト腰ベルトのしめ方

1. 肩ベルトと腰ベルトにゆるみがないかを確認して、肩ベルト調節ベルトを引っ張ってください。
※肩ベルトと腰ベルトのゆるみは危険です。
お子さまと肩ベルトのすきまは手のひらが入る程度に調節してください。



B

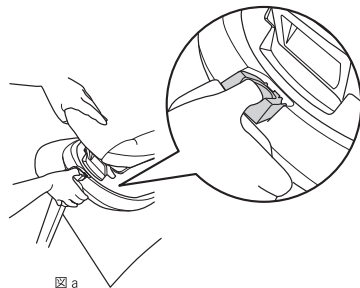
肩ベルト腰ベルトのゆるめ方

1. ベルト調節ボタンを片手で押しながら、もう片方の手で左右の肩ベルトを引っ張ります。
肩ベルトパッドを引いても肩ベルトはゆるみません。



5-5 シート本体の回転方法

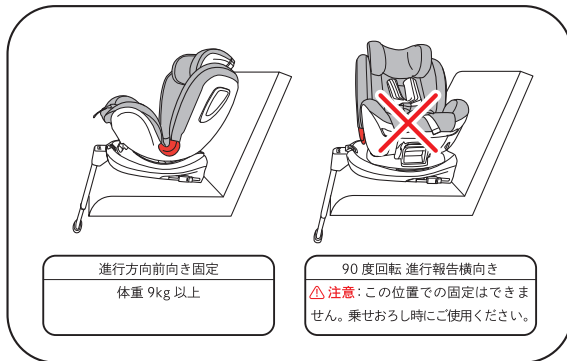
1. 図 a のように親指で回転レバーを引っ張りながら座席を回転させます。
2. 動き始めたら回転レバーから手を離します。
3. 前向きになるとカチッと音がしてロックされます。
4. 回転が完了したら、必ずシートを左右にゆすり、必ず固定されていることを確認してください。



警告

回転操作時はお子さまの手や指などを近づけないよう十分ご注意ください。手や指などがはさまれ、けがをするおそれがあります。また、同乗者の手元も同様に十分ご注意ください。

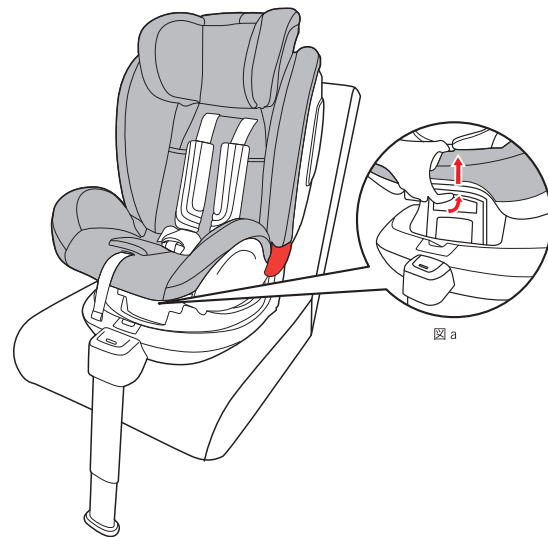
走行中は回転操作を絶対にしないでください。
ゴミや飲食物が入ると故障の原因になります。



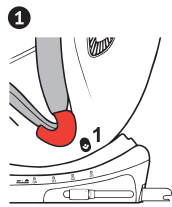
5-6 リクライニング角度調節方法

座席前面裏側にあるリクライニングレバーを図 a のように押し上げながら、シートと共に手前に引っ張って角度調節をします。

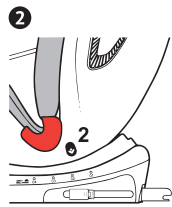
角度調節は 4 段階です。



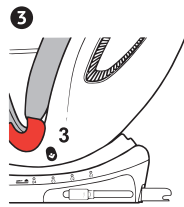
進行方向前向き (9kg~36kg)



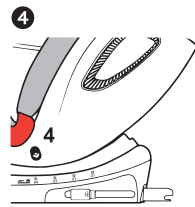
01



02



03

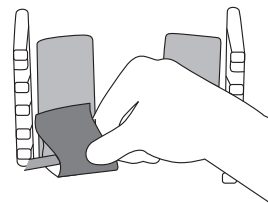


04

5-7 肩ベルトの外しかた

1. 肩ベルトをゆるめる。(P10 参照)
2. 肩ベルト収納ボックスを開き、図 a(右)のようにベルト連結金具より左右の肩ベルトを外す。
3. ベルト連結金具は図 b(右)のように収納ボックス内の上部プラスチック部分に引っ掛ける。
4. 前面より肩ベルトをひき抜く。
5. バックルタンクを肩ベルトより外す。
※バックルタンクは大切に保管してください。
6. 肩ベルトは図 cのようにベルト通し穴の下に入れ込んでください。

図 a



ベルト連結金具

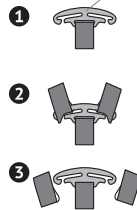


図 b

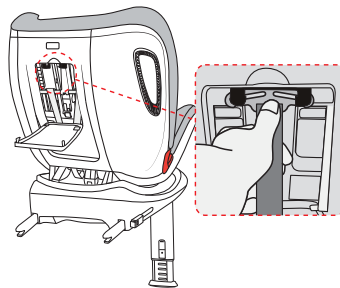
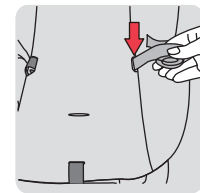


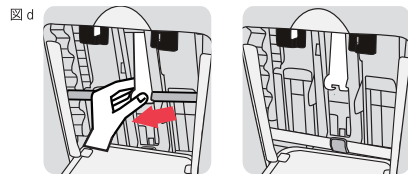
図 c



5-8 肩ベルトパットのの外しかた

1. ヘッドレストを一番下まで下げ図 d (左) のようにベルト調節バーをプラスチックより外す。
2. ベルト調節バーを傾けながら肩ベルトパッドを左右外し、ベルト調節バーは図 d (右) の位置に収納する。
3. 前面より肩ベルトパッドを外す。

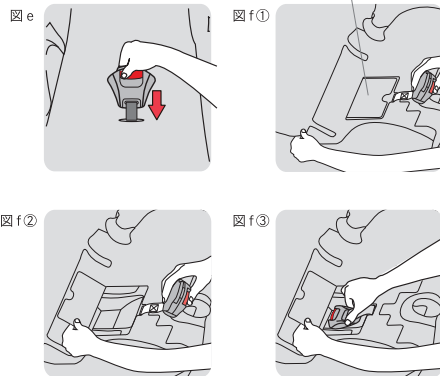
※肩ベルトパッドは大切に保管してください。



バックル収納BOX

5-9 バックルの外しかた

1. 股あてパッドをバックルから外してください。
※股あてパッドは大切に保管してください。
2. バックルは図 e のようにシート下へ移動します。
3. 座面シートをめくり、バックル奥のクッション材をめくり、図 f ①の位置にあるバックル収納BOXをあけ、図 f ②・③のようにバックルを収納します。
注意) 座面手前のクッション材は固定されていますので、はがさないでください。
4. 座面シートを元の位置に戻します。

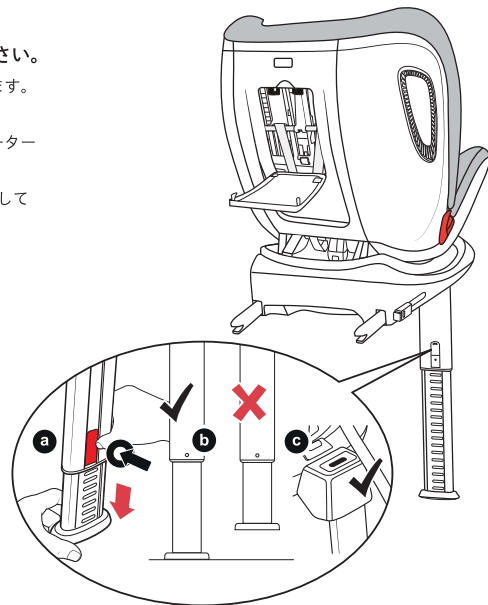


5-10 サポートレッグの長さ調節のしかた

サポートレッグを最大限広がる角度まで広げてください。

- a) 調節ボタンを押しながら、もう片方の手で長さをのばします。
- b) 車両の床面に設置するまでのばします。
- c) 車両の床面に設置完了すると、サポートレッグインジケータが赤⇒緑に変わります。

※必ずインジケータが緑になるようサポートレッグを伸ばしてください。



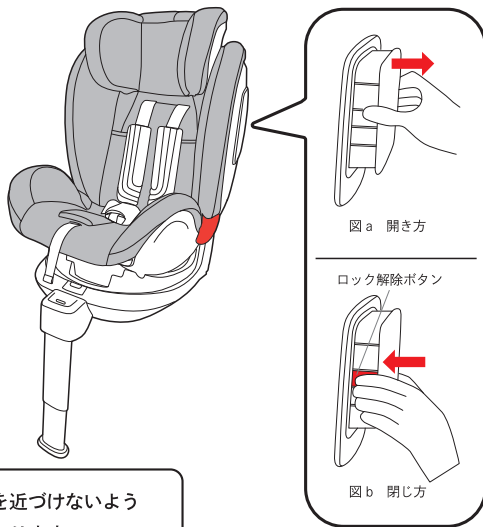
5-11 サイドプロテクターの使用方法

【開き方】

1. ドア側のサイドプロテクターを図 a のようにカチッと音がするまで開く。
2. サイドプロテクターがロックされている事を確認してください。

【閉じ方】

1. サイドプロテクターを図 b のように中心部分にあるロック解除ボタンを押し込みながら閉じる。



サイドプロテクターの操作時はお子さまの指や手を近づけないようにしてください。はさまれ、けがをするおそれがあります。

5-12 シートカバーの取外し・付け方

1. 肩ベルトを外します。(P14 参照)

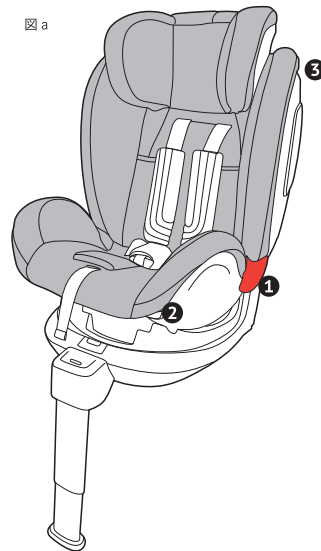
2. 図 a①②③の箇所でシートカバーが本体に留められています。
①は赤いプラスチックゴムで留められていますので、外してください。
②③は本体の先端へ埋め込まれているので外してください。
※ヘッドレストからシートカバーを外す場合は、ヘッドレストを一番高い位置にしてから外してください。

3. 取付け方法はこの逆の手順で取付けてください。



シートカバーなしでは絶対に使用しないでください。
肩ベルトを取付ける場合は、ねじれがないことや正しく装着されているかを確認してください。

図 a



ISOFIX の取付方法

6-1 進行方向前向きでの取付方法 (体重 9kg ~ 36kg)

1. 車両側の ISOFIX 取付バーの位置を確認してください。
2. ISOFIX キャップを ISOFIX 取付バーに差し込んでください。(図 a 参照)

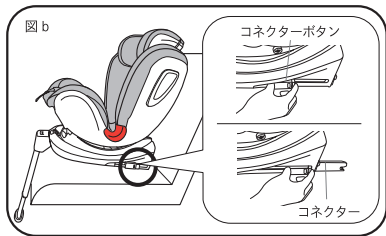
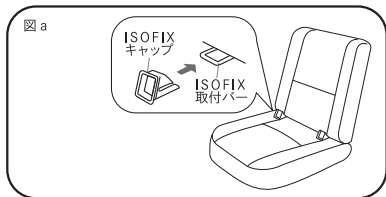


15kg ~ 36kg でのご使用の際は肩ベルト・バックルは使用しませんので外してください。

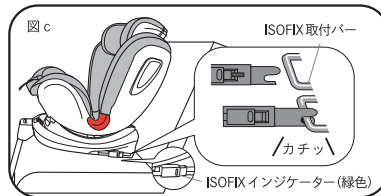
<ポイント>

● ISOFIX 取付バーが車両シートにかくれて見えにくい場合は、付属の ISOFIX キャップを使用する事でチャイルドシートを取付けしやすくなります。
※車のシートによっては ISOFIX キャップが取付けられない場合がございます。その場合は、ISOFIX キャップを使用せずにチャイルドシートを取付けてください。

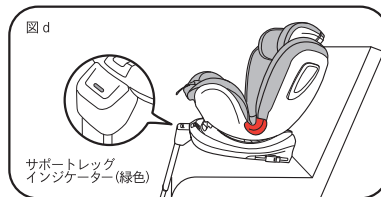
3. ISOFIX コネクターを押して、コネクターを最大限まで引き出します。(図 b)
4. ISOFIX コネクターを車両側の ISOFIX 取付バーに 2 本同時に「カチッ」と音がするまでまっすぐ差し込んでください。(図 c)



5. ISOFIX インジケーターが 2 本とも緑になっていることを確認してください。(図 c)

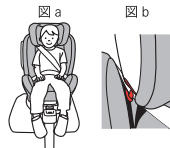


6. チャイルドシートのベース部分左右を持ち、車体シート側へ接するまで強く押し込んで下さい。
7. サポートレッグインジケーターが緑になっていることを確認してください。(図 d)



シートベルトの取付け

1. お子さまの背中がシートにつくように深く座らせてください。(図 a)



2. 車両のシートベルトを引き出し車両のバックルに差し込みます。



シートベルトが抜けなことを必ず確認してください。

3. 車両の肩ベルトをヘッドレスト下にある赤色のベルトガイドに通してください。(図 b)



シートベルトがお子さまの首にかかっていないか確認してください。
首にかかっている場合は、ヘッドレストの高さを調節してください。

4. 車両の腰ベルトはチャイルドシート本体腰部分の赤いプラスチックの上を通してください。



腰ベルトがお子さまの腹部にかかっていないか確認してください。

お手入れのしかた

肩ベルトとシートカバーのお手入れ


ぬるま湯と中性洗剤を使用して、部分洗いをします。洗浄後は乾いた布等でふき取ってから、日陰で平干ししてください。


保管方法

安全で乾燥した場所に保管して、熱や直射日光を避けてください。チャイルドシートの上に重い物を置かないでください

 手洗い 30℃

 漂白 NG

 ドライクリーニング NG

 タンブラー乾燥 NG

 アイロン NG

 日陰で平干し

本体サイズ

【サイズ】

奥行き：58cm

幅：44cm

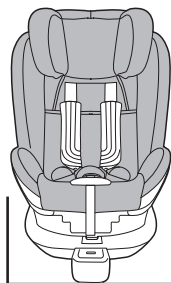
高さ：62cm～82cm

【材質】

本体：ポリプロピレン

シート生地：ポリエステル

インナークッション：ポリウレタン



44cm



58cm

62cm～82cm

日常の点検

チャイルドシートの機能を果たすため、使用前には、下記事項を点検してください。

- 1 肩ベルト、腰ベルトがお子さまの体にフィットしていること
- 2 バックルタングがしっかりとバックルに差し込まれていること
- 3 チャイルドシートが車両の座席にしっかりと固定されていること
- 4 レッグサポートが床にしっかりとつきように長さが調節してあること



5 肩ベルトが正しい位置に調節されていること

6 コネクターが車両の ISOFIX 取付バーにしっかりと固定されていること

7 ISOFIX インジケータのロックがかかっていること
(表示が緑色になっていること)

警告

- ・肩ベルトと腰ベルトにねじれやたるみがないこと。
- ・お子さまの骨盤をしっかりと拘束するよう、必ず腰ベルトを低く下げること。